

広がる ニューペック ファミリー

~GPSフィッシングマップ~

マップル・オン

(一財)日本水路協会が発行する航海用電子参考図「ニューペック」は、 ウインドウズパソコン上での運用に加えて、国内の航海機器メーカーの多くが、 自社製品にニューペックを導入。スマートフォンやタブレット向けのアプリも登場し、 エントリーユーザーでも気軽に使える環境ができている。 ここでは、ますます広がる「ニューペックファミリー」に注目し、 あれこれ紹介していく。

今月は、スマートフォン/タブレット向けアプリ

「海釣図~GPSフィッシングマップ~」を紹介しよう。



●対応OS: Andoroid OS4.0以降、iOS7.0以降 ●利用料:無料(詳細マップ利用時は月400円)

**間 マップル・オン** http://mapple-on.jp/products/kaichouzu



ニューペックの海底地形図を搭載し、最 小1m間隔での等深線を表示。陸上の 地図情報も収載しているのがうれしい

今や1人1台が当たり前の時代になったと 言っても過言ではない、スマートフォン(スマホ)。 そんな時代の流れに合わせるかのように、本格 的なナビゲーションツールである航海用電子参 考図「ニューペック (new pec)」が、スマホやタ ブレット向けアプリのマップデータとして使われ ていることは、ご存じだろうか。

そのアプリとは、マップル・オンが提供する 「海釣図~GPSフィッシングマップ」だ。IOS (7.0以降)とAndroid OS(4.0以降)の二つの OSに対応し、幅広いユーザーから支持を集め

「海釣図」は、小型ボートやカヤック、あるいは遊 漁船などでフィッシングを楽しむ方を対象に開発 されたアプリだ。スマホの機器としての利便性に 着目し、製品化を実現。マップデータとして使わ れているのが、ニューペックの海底地形図だ。

基本的な機能は、スマホやタブレットに搭載さ れたGPS機能を使い、自船の位置をマップ上に 表示するというもの。自分が釣りをしている場所 が、いったいどれくらいの深さがあり、周辺の海底 はどんな地形になっているのかが、一目で理解で きる。「海釣図」の製品化にあたって、開発から 深く関わっているマップル・オン社の高澤宏光 さんは、次のように話す。

「私自身が小型ボートでの釣りを趣味にしてい て、友人とトレーラーボートを引っ張っていっては、 関東近郊の各地で釣りを楽しんでいます。釣果 を上げるために必須の魚探は、当然積んでいま すが、それだけでは急なカケアガリなどの海底の 地形を、頭のなかでバーチャル化するのはなか なか難しい。紙の海図もあるんですが、縮尺に よっては情報量が少ない。スマホで利用できる マップアプリをあれこれ見ても、基本的には陸上 での利用を想定して作られているものばかりで、 自分が知りたい水面下の情報が容易に得られる ものはありませんでした|

そんなとき、あれこれ調べているうちに、出合っ たのがニューペックだった。アプリの制作を仕事 にしている高澤さんは、趣味と実益を兼ねて、 ニューペックを搭載したフィッシングアプリを作れ ないかと考えたわけだ。

「ニューペックには、細かな等深線はもちろん、 魚礁や根などの情報が詳細に収載されています。 これさえあれば、自分の釣果も飛躍的にアップす るはず! と考えたわけです(笑)」

こうして誕生した「海釣図」には、高澤さん自身 がボートフィッシング愛好家であるだけに、ユー ザー目線の工夫があれこれ詰まっている。

例えば、釣行に出かけたときには、メニューから 「釣行記録開始」を選択しておけば、その日の航 跡をデータとして残しておくこともできる。大物 を釣り上げたポイントを「マイポイント」として登録 したり、スマホで撮影した写真と連動させれば、 自分だけの釣行日記を残すことも可能だ。あと で振り返ることもできるし、アプリを使っている別 のユーザーと共有することも可能だ。

「マップの提供エリアは、随時拡大しており、現 在は北海道から沖縄まで、釣りに出るようなエリア はほぼカバーしています。また、昨年から基本機 能に加えて、風向・風速、海水温、タイドグラフ の情報も得られるようになり(詳細マップ利用時 に限る)、さらに使い勝手がよくなったと思います」 ニューペックならではの詳細なデータは、釣りを やる人にとっては大きな武器になる。スマホにぜ ひダウンロードしておきたい、必携のアプリだ。



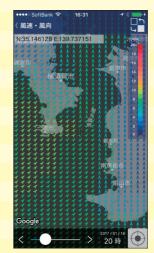
三浦半島西岸、諸磯湾付近を表示 したところ。浅瀬や暗岩の多いエリ アとして知られるが、かなり細かく表 示されている。漁具や定置網がき ちんと表示されているところも、 ニューペックの最大の特徴だ



マップル・オンの高澤氏が、2016 年のハギマスター(相模湾のカワハ ギ釣り大会) に参加したときの航跡。 シーボニアマリーナを出港し、沖ノ 瀬の周辺を丹念に探り続けた様子 がよく分かる



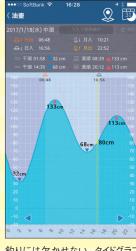
同じく、2016年のハギマスターの 際の釣行記録。スマホで撮影した 写直を そのままアプリの中にアップ して保存することができるだけでなく、 メモ欄には、当日の釣果などを記録 しておくことも可能だ



「海況予報 | 機能では、各地の風 速・風向(写真)や波の予想を閲 覧することが可能。気象アプリなど、 複数のアプリを使うのではなく、一 つのアプリで全てが完結するので 使いやすい



こちらは、海水温の予想ページ。水 温ごとに色分けされて表示されるの で、一目見れば直感的に情報を把 握できるあたりもポイントだ。30日先 までの情報が見られる(風速・風向、 波の予想は最大72時間先まで)



(潮汐表)機能も備えている。任意 のポイントを指定すると、そこから一 番近くにある計測場所の情報が出 てくる。いちいちポイントを探さない でいいので便利だ

航海用電子参考図「New pec」 JHA(-財)日本水路協会

